

過去の出題傾向について確認しておこう！

京大入試研究[英語]

▶ 出題一覧表

過去 10 年の京都大学の入学試験(英語)で出題された分野を次の表にまとめた。

	I	II	III	IV
2016	長文読解(約 650 語) ・ 下線部和訳(1 問) ・ 内容説明(2 問)	長文読解(約 410 語) ・ 空所補充(1 問) ・ 下線部和訳(2 問)	和文英訳(1 問)	自由英作文(1 問)
2015	長文読解(約 680 語) ・ 下線部和訳(2 問) ・ 内容説明(1 問)	長文読解(約 380 語) ・ 下線部和訳(2 問) ・ 空所補充(1 問)	和文英訳(2 問)	—
2014	長文読解(約 520 語) ・ 下線部和訳(3 問)	長文読解(約 600 語) ・ 下線部和訳(3 問)	和文英訳(2 問)	—
2013	長文読解(約 500 語) ・ 下線部和訳(4 問)	長文読解(約 500 語) ・ 下線部和訳(4 問)	和文英訳(2 問)	—
2012	長文読解(約 520 語) ・ 下線部和訳(4 問)	長文読解(約 440 語) ・ 下線部和訳(2 問) ・ 同意文選択(2 問)	和文英訳(2 問)	リスニング ※総合人間学部のみ
2011	長文読解(約 580 語) ・ 下線部和訳(3 問)	長文読解(約 540 語) ・ 下線部和訳(3 問)	和文英訳(2 問)	リスニング ※総合人間学部・医学部医学科のみ
2010	長文読解(約 530 語) ・ 下線部和訳(3 問)	長文読解(約 490 語) ・ 下線部和訳(4 問)	和文英訳(2 問)	リスニング ※総合人間学部・医学部医学科のみ
2009	長文読解(約 380 語) ・ 下線部和訳(3 問)	長文読解(約 390 語) ・ 下線部和訳(3 問)	和文英訳(2 問)	リスニング ※総合人間学部・医学部医学科のみ
2008	長文読解(約 580 語) ・ 下線部和訳(3 問)	長文読解(約 600 語) ・ 下線部和訳(3 問)	和文英訳(2 問)	リスニング ※総合人間学部・医学部医学科のみ
2007	長文読解(約 550 語) ・ 下線部和訳(3 問)	長文読解(約 510 語) ・ 下線部和訳(3 問)	和文英訳(2 問)	リスニング ※総合人間学部・医学部医学科のみ

▶ 分析と対策

2015 年度までは長文読解問題 2 題、英作文問題 1 題が京大の大問構成の基本となっていたが、2016 年度は英作文が和文英訳と条件付きの自由英作文の 2 つに分かれ出題された。なお、2007-2012 年度は一部の学部・学科でリスニング問題も出題されている。

大問 I …一貫して論説文の長文読解問題となっている。出題形式は下線部和訳問題が中心だが、2015 年度・2016 年度は内容説明問題も出題された。

大問 II …大問 I に比べると年度により出題形式や主題の変化が若干あるものの、過去 10 年では論説文の読解問題が中心となっている。2012 年度に小説文の下線部和訳に加え同意文の選択問題が出題されたが、2013 年度・2014 年度は論説文の読解問題で、設問形式もシンプルな下線部和訳に戻っていた。2015 年度・2016 年度は論説文の読解問題だが、下線部和訳に加え空所補充問題が出題された。大問 I・大問 II とも、英文全体の内容を理解しつつ、問われている英文の文構造を緻密に把握できる力が求められている。

大問 III …随筆風の和文英訳問題 2 問が定番であったが、2015 年度は 2 問のうち 1 問が対話形式の英訳問題となり、2016 年度は随筆風の和文英訳問題 1 問になった。日本語独特の言い回しも含まれるため、和文の伝えようとしている内容を正しく理解し、自分で表現できる英語を駆使して英訳する必要がある。

大問 IV …2016 年度は対話の応答が成立するように 2 箇所の空所を英文で補う自由英作文が出題された。「積ん読」という言葉を説明し、さらにそれに対する意見を述べる内容であった。正しい英語表現を使うのはもちろんだが、内容面で減点されないように、ある物事を英語で説明し、さらにそれに対して英語で意見を述べる練習をしておく必要がある。